



きどころ み な こ
城所 美奈子

面積や世帯数に差がある自治会に
一律3件の区長要望は不公平では

件数の基準を見直す考えは

【答弁】 3件以内での区長要望を見直す予定はない

動画で一般質問を
ご覧いただけます



【問】 区運営交付金と区長報奨金の支払い状況は。
区長報奨金に定めがないのであれば、区運営
交付金の中から区長報酬として支払うのはどうか。

【答】 区運営交付金は要綱に基づき、均等割額4万
円+加入世帯数×470円、区長報奨金は、均
等割額9万円+加入世帯数×550円。区長報奨金の
要綱は定めていないが、適正であると考えため、
これまで通りとする。

移住・定住促進について

【問】 移住定住に向けた将来像は。

【答】 本市の魅力発信と、来年度以降の施策の見
直しできめ細やかなサービスをしていく。

審議会・協議会への市民参加について

【問】 傍聴の周知の工夫や、市民が継続して情報
を得る方法は。

【答】 会議開催の1週間前までに傍聴の呼びかけや、
その他の情報を市ホームページに掲載している。

投票率向上のための取り組みと課題について

【問】 さいたま市長選挙では「こども選挙」が行
われたが、本市での新たな取り組みは。

【答】 新たな取り組みは予定していない。



か と う し ょ う ご
加藤 将伍

財政調整基金残高が枯渇し、緊急
財政対策を実施する自治体もある

本市の財政調整基金残高の推移は

【答弁】 標準財政規模に対して13%を確保見込み

動画で一般質問を
ご覧いただけます



【問】 今年度当初予算は、学校給食費の無償化や、
地域公共交通対策おでかけタクシー事業な
ど、市民生活に直結した大切な事業が目白押しであ
る。その中で、財政調整基金の残高推移を伺う。

【答】 当初予算における財政調整基金の取崩額は
約9.6億円で過去2番目に大きな額となった
が、令和7年度末基金残高見込みは15.7億円で財
政規模の13.1%、目安の10%を上回る額を確保。

【問】 市民サービス向上に資する取り組みを持続可
能にするため「自主財源増収」に向けた方策は。

【答】 恒常的な財源である税収確保が重要。100件
を超える企業立地で固定資産税が大きく増加。

人口1人あたりの固定資産税額は近隣市でトップ。

【問】 昨年税率改定した法人市民税。多くの企業立
地に成功する本市に超過課税の効果は大き
い。増収見込みを地方交付税の影響も踏まえて伺う。

【答】 超過課税分を9,000万円と見込み、子ども医
療費拡充やおでかけタクシー、おでかけワゴ
ンの財源として活用。超過課税分に地方交付税への
影響はなく、増収分をそのまま財源に活用可能。

【問】 財政硬直化の進行が懸念される。その改善の
カギとなる「経常的な支出抑制」の方策は。

【答】 健康の取り組みで医療費抑制、ごみの減量化、
今後は、公共施設の総量最適化を進めていく。